

| | |
|---|--------------|
| CDプレーヤーを使う | 76~85 |
| 各部の名称とはたらき | 76 |
| 表示部(再生画面)について | 77 |
| CDを聞く | 78、79 |
| CDモードを終了する | 80 |
| CDを取り出す | 80 |
| 操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める) | 81 |
| 早戻し/早送りをする | 81 |
| 再生モードを選択する (リピート/ランダム/スキャン再生) | 82、83 |
| トラックリストより好きなトラックを選び再生させる | 84、85 |

CDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック情報** ボタン*1

トラックの詳細情報を表示します。

② **トラックリスト** ボタン*1

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
(84、85ページ)

③ **切替** ボタン*1

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
(355ページ)

④ **●録音** ボタン*1

録音設定画面を表示し、録音を開始させることができます。
(50～52ページ)

⑤ **再生モード** ボタン*1/*2

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。
(82、83ページ)

⑥ **AUDIO** ボタン

AV MENU画面を表示します。
※ナビゲーション画面/FM/AM/Digital TV/
Music Rack/SD/iPod/USB/VTRモード
からCDモードに切り替えるときに使用します。

⑦ **TILT** ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる/
取り出すときに使用します。
(78、80ページ)

⑧ **トラック** ボタン(◀▶)*2

好きな曲を選びます。また、このボタンを
押し続けると早戻し(◀◀)/早送り(▶▶)します。
(81ページ)

⑨ **VOLUME** ボタン

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

⑩ **Quick** ボタン*1

カスタマイズ機能を使用することができます。
(354ページ)

⑪ **電源** ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。



アドバイス

● *1印：録音(REC)中は表示されません。

● *2印：録音(REC)中は操作できません

● 録音(REC)中はCD録音画面を表示し、**録音中止** ボタンが表示されます。タッチすると録音(REC)を中止します。

● 1枚のディスクに音楽データとMP3/WMAデータが混在する場合はMP3/WMAデータは再生しません。

表示部(再生画面)について

(トラック情報表示時(例))

再生時間表示

再生状態表示

- ▶ :通常再生
- ▶▶ :早送り
- ◀◀ :早戻し

音場(臨場感)表示

選択中の音場を表示します。
 [音場] 31~33ページ
 ※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。
 ※イコライザ設定中は **EQ** マークが表示されます。
 [音場] 34~37ページ

リピート/ランダム/スキャン選択時に表示

表示内容につきましては82、83ページを参照してください。

トラック名表示

アーティスト名表示

アルバム名表示

ジャンル名表示

トラック番号：トラック名表示

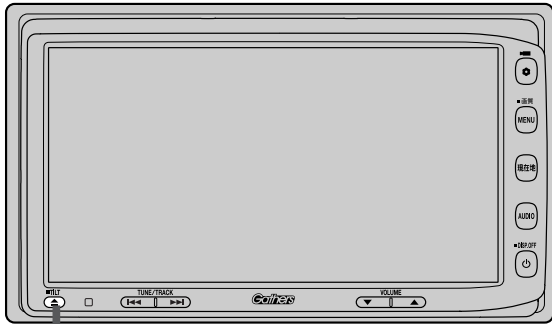


アドハイス

- トラック情報表示のとき、トラック名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- トラック情報表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
 ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
 ※画面上部のトラック名が表示しきれない場合は、トラック情報表示/トラックリスト表示のどちらからでもタッチしてスクロールすることができます。
- DISC内のCD-TEXT情報と、Gracenoteデータベースの検索結果によって再生時の表示は以下のようになります。
 - ・ DISCにCD-TEXT情報があれば、トラック名/アーティスト名/アルバム名はCD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
 - ・ CD-TEXTが無い場合でGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのトラック名/アーティスト名が表示されます。
 - ・ DISCにCD-TEXTも無くGracenoteデータベースにもヒットしなければ、トラック名/アーティスト名/アルバム名は全て“No Title”と表示されます。
 - ・ 本機へ録音(REC)されるタイトル情報はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみであり、CD-TEXT情報は反映されません。
 - ・ CD再生中のリスト表示はGracenoteデータベースにヒットしている場合にトラック名がリスト表示されます。DISCにCD-TEXTがある場合はCD-TEXTが優先してリスト表示されます。どちらの情報もない場合はトラック名に全て“TRACK1…”と表示され、タイトル表示されません。
- ※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

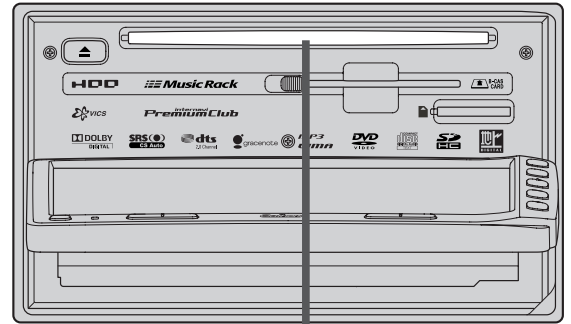
CDプレーヤーを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 ディスク挿入口

CDを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。

: ディスプレイが開きます。

2 ディスク挿入口にCDを挿入する。

: 自動でディスプレイが閉じ、CDの再生を始めます。

※本機の録音方法(初期)は**自動録音**に設定されているため、未録音のCDを挿入した場合は再生と同時に Music Rack (HDD)へ自動で追っかけ録音を開始します。
☞ 50ページ
録音(REC)を停止させるには録音画面で**録音中止** ボタンをタッチしてください。

※録音時の自動/手動は設定により変更できます。

☞ 「録音方法の手動/自動を選択する」
46、47ページ

※マッハリッピング(高速録音)をする場合も

録音中止 ボタンをタッチしていったん追っかけ録音を止めてから各操作を行なってください。

☞ 「**録音速度を選択し、録音方法/録音音質を選択する**」 50~52ページ



アドバース

ディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。



CDモード画面(自動録音設定時)
未録音の場合(例)



アドバース

Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rack (HDD)へ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。

☞ 「**本機のMusic Rack (HDD)機能について**」 48ページ

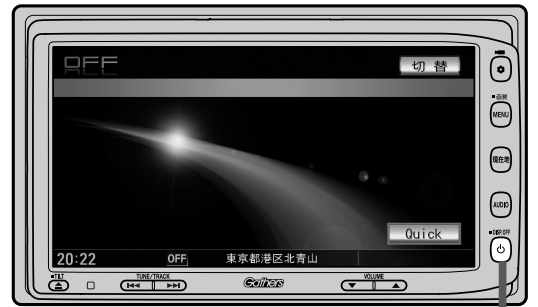
☞ 「Music Rackを使う」 106~143ページ

※音楽CD以外(MP3/WMAなど)は録音できません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回CDモード画面でOFF (オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
 : 前回のつづきからCDの再生を始めます。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーション画面または前回CDモード以外のオーディオモード画面の場合

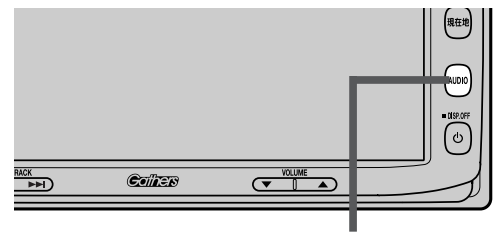
① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
 : AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ AV MENU画面のときは…
 ②へ進んでください。

□ ラストモード*画面のときは…
 もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。
 : AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

② 画面の **CD** ボタンをタッチする。
 : CDの再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン

↓ AV MENU画面



■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

- ☞ 「音量を調整する」 26ページ
- ☞ 「画質調整のしかた」 27～29ページ
- ☞ 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



CDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

アドハイス

- ☞ 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

CDプレーヤーを使う(3)

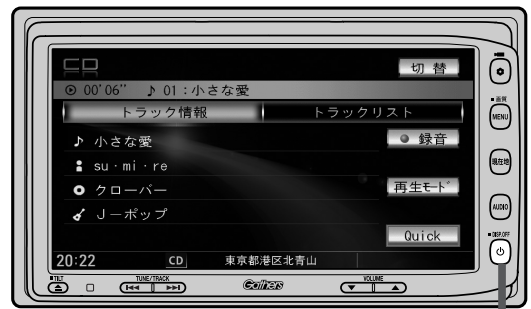
CDモードを終了する

1

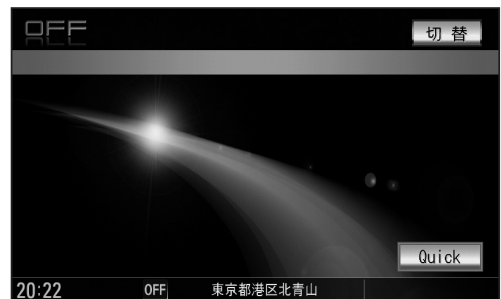
パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されCDの再生を止めます。(オーディオモード終了)

※録音中の場合、CDの再生を止めても録音は継続されます。

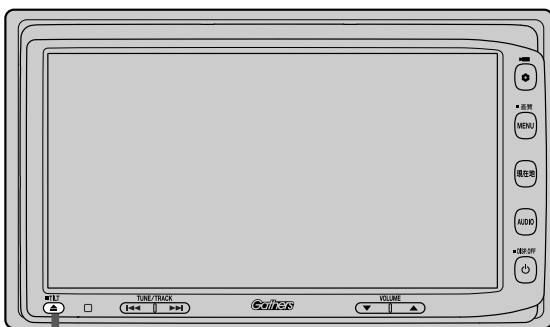


1 **電源** ボタン(⏻)



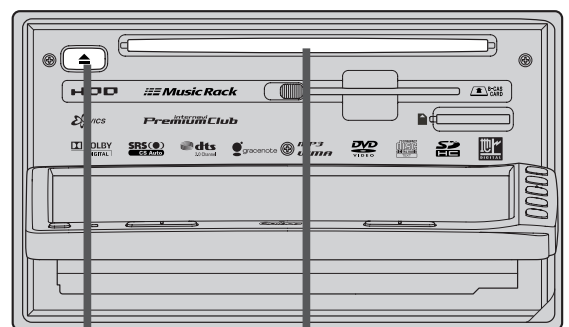
CDを取り出す

[ディスプレイが閉じた状態]



1 **TILT** ボタン(▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 **DVD/CDイジェクト** ボタン(▲)

ディスク挿入口

1

パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイが開きます。

2

パネルの **DVD/CDイジェクト** ボタン(▲)を押す。

：CDがディスク挿入口より出てきます。



アドバース

CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。

※再生中に車のエンジンスイッチを0(OFF)にした場合は、次に車のエンジンスイッチをI(ACC)またはII(ON)にすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。

※**DVD/CDイジェクト** ボタン(▲)を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生を開始します。

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

- 1** パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。
 : 前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

- ◀◀側を2回押す。
 ※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

- ▶▶側を押す。



アドバース

- 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。
 [音]「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」84、85ページ
- 録音(REC)中トラックを戻す／進めることは操作できません。
- * : トラック再生開始3秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

早戻し／早送りをする

- 1** パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。
 : 再生中の曲の早戻し／早送りをします。

再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し



1 **トラック** ボタン

■ 早戻しで戻る場合

- ◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

- ▶▶側を押し続ける。



アドバース

- それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます
- 録音(REC)中の早戻し／早送りはできません。

CDプレーヤーを使う(4)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

- 1 画面の **再生モード** ボタンをタッチする。
: 画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

下記手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

CDモード TOP画面(例)

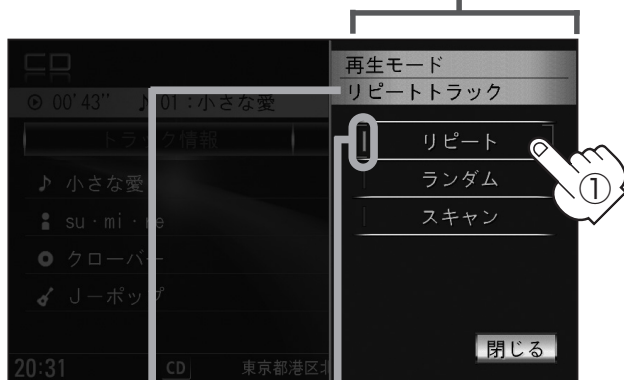


- 2 再生したいモード (**リピート** / **ランダム** / **スキャン** ボタン) を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

- ① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの 選択時点灯状態を表示

: 表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチすることにより用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯 / TOP画面のとき **REPEAT TRACK** マーク表示有)

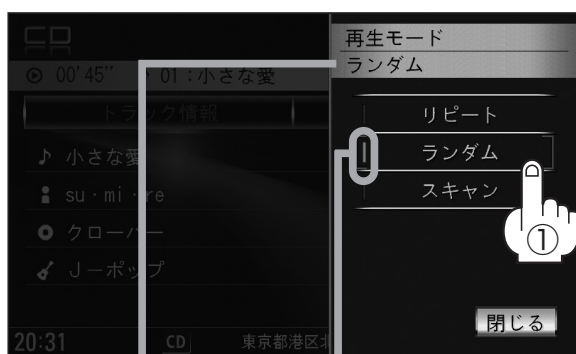
通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯 / マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

- ① **ランダム** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの 選択時点灯状態を表示

: 表示灯点灯し、ディスク内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチすることにより用途が変わります。

ディスク内の曲をランダム再生

(表示灯点灯 / TOP画面のとき **RANDOM** マーク表示有)

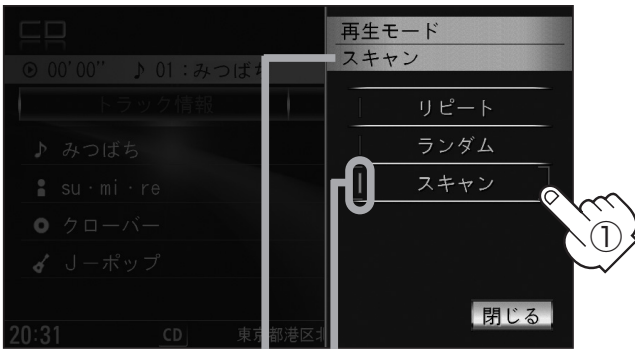
通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯 / マーク表示無)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯
の状態を表示

: 表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をスキャン再生

(表示灯点灯/
TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



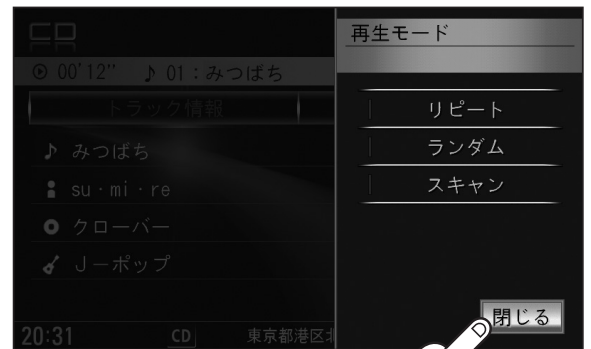
通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯/マーク表示無)

3 設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

: TOP画面に戻ります。



アドバイス

- 録音(REC)中は操作できません。
- マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。
- ランダム再生は次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

CD

リPEAT再生 / ランダム再生 / スキャン再生

CDプレーヤーを使う(5)

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

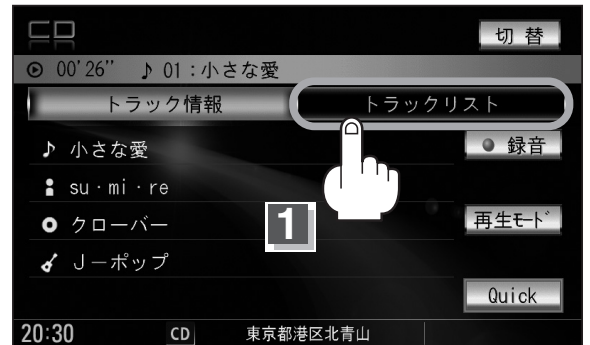
トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1

画面の**トラックリスト**ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

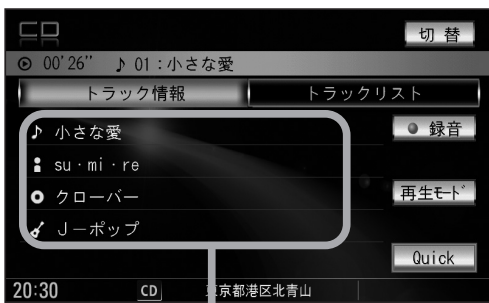
CDモードTOP画面
トラック情報表示(例)



アドバイス

CDモードのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報** / **トラックリスト**)によってトラック情報表示 / トラックリスト表示となります。

TOP画面(例)

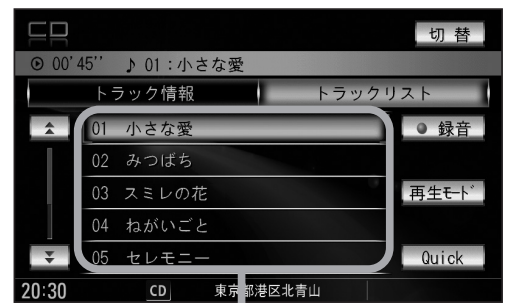


トラック情報表示

トラックリスト
ボタンタッチ

トラック情報
ボタンタッチ

TOP画面(例)



トラックリスト表示

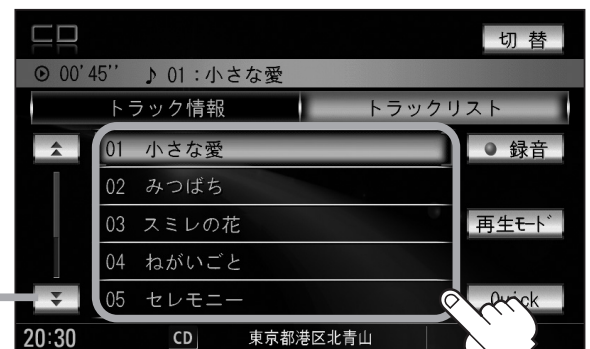
※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2

再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

TOP画面
トラックリスト表示時(例)



↑ / ↓ ボタンタッチでページ戻し / 送り表示

2



アドバイス

トラックリストについて

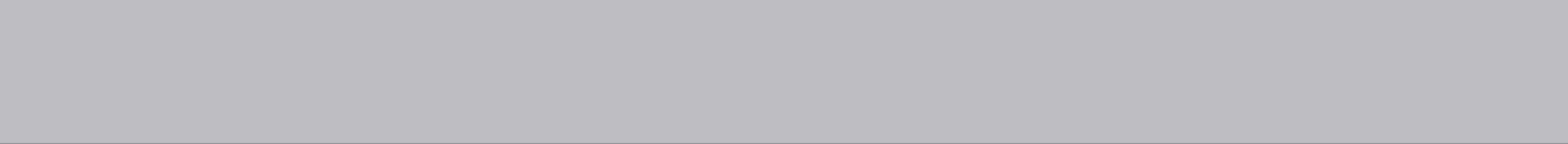
- CD-TEXT情報またはGracenoteデータベースタイトル情報が表示されます。
- タイトル情報がない場合は、TRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
- TOP画面をトラック情報表示に戻したい場合は、**トラック情報** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)



アドバンス

録音 (REC) 中は操作できません。

※録音 (REC) 中はトラックリストを表示させてもトラックの選択はできません。トラックリストの確認のみとなります。



MP3/WMA (CD-R/RW)

| | |
|--|---------|
| MP3/WMAについて | 88~93 |
| MP3/WMAプレーヤーを使う | 94~103 |
| 各部の名称とはたらき | 94 |
| 表示部(再生画面)について | 95 |
| MP3/WMAを聞く | 96、97 |
| MP3/WMAモードを終了する | 97 |
| MP3/WMAディスクを取り出す | 97 |
| 操作パネル上のボタンにて1ファイルずつ選曲する (トラックを戻す/進める) | 98 |
| 早戻し/早送りをする | 98 |
| 好きなフォルダを選ぶ | 99 |
| 再生モードを選択する (リピート/ランダム/スキャン再生) | 100、101 |
| トラックリストより好きなファイル(曲)を選び 再生させる | 102、103 |

MP3/WMAについて(1)

■MP3とは？

MP3 (MPEG Audio Layer 3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

■WMAとは？

WMA (Windows Media™ Audio) は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

■再生可能なMP3/WMAファイルの規格について

| | MP3 | WMA |
|------------------------|--------------------|-----------------------------------|
| 対応規格 | MPEG Audio Layer 3 | Windows Media Audio* ¹ |
| 対応サンプリング周波数 | ☞ 92ページ参照 | ☞ 93ページ参照 |
| 対応ビットレート* ² | | |

* 1印：● DRM(デジタル著作権管理)システムのWMAファイルやプロテクト録音(ライセンス管理)されたWMAファイルは再生できません。

● Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。

* 2印：● 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。

● VBRに対応しています。

● フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※ 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

■使用できるメディアについて

● MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。

※ CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

● 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

※ CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ファイル名について

● MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”(*1)/WMAの拡張子“WMA”(*1)が付いたものだけです。

● MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。

* 1) : 拡張子名“MP3”/WMAは大文字でも小文字でもかまいません。



アドバース

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMAファイル以外に、“MP3”/“WMA”の拡張子を付けしないでください。MP3/WMA以外の形式のファイルは動作を保証していません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角32文字、バージョン2.xは半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名です。

※WMAタグの表示可能文字数は全角／半角32文字です。

※対応バージョンはVer 1.0／1.1／2.2／2.3となります。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

※MP3／WMAファイルをDVDに書き込みしたディスクの動作保証はしていません。

■MP3／WMAの再生について

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。



アドバース

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)

■MP3／WMAの演奏時間表示について

MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1、レベル2、Remeo、Jolietです。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。

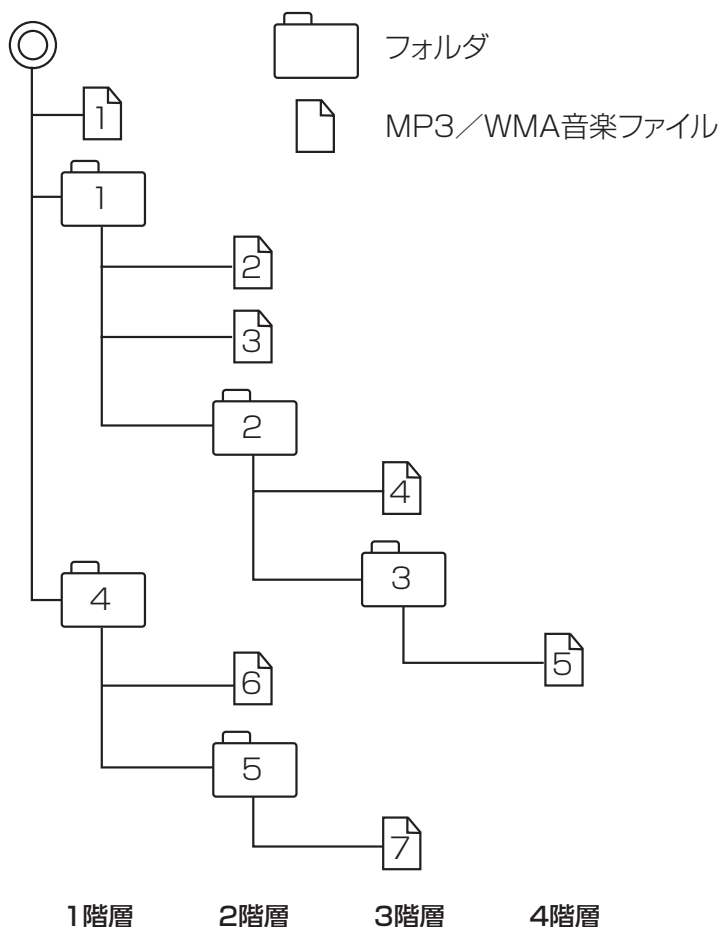
上記フォーマットに準拠して記録されたディスク以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 全角32、半角32文字
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字 : A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、
_(アンダースコア)、JIS第一水準
- 1フォルダ中の最大ファイル数 : 255
- 1メディア内の最大ファイル数 : 999
- 最大フォルダ数 : 255
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト／m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。

MP3/WMAについて(2)

階層と再生順序のイメージ



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

■MP3/WMAファイルの作り方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

□インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り(料金支払いなど)、そこから指示通りにダウンロードを行ないます。

※著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

□音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚(最大74分収録/データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。

□CD-R/CD-RWに書き込む場合

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。



アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3/WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。

MP3/WMAについて(3)

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

| | MPEG1 | MPEG2 |
|-----------------|-------|-------|
| サンプリング周波数 (kHz) | | |
| 16.000 | — | ○ |
| 22.050 | — | ○ |
| 24.000 | — | ○ |
| 32.000 | ○ | — |
| 44.100 | ○ | — |
| 48.000 | ○ | — |
| ビットレート (kbps) | | |
| 8 | — | ○ |
| 16 | — | ○ |
| 24 | — | ○ |
| 32 | ○ | ○ |
| 40 | ○ | ○ |
| 48 | ○ | ○ |
| 56 | ○ | ○ |
| 64 | ○ | ○ |
| 80 | ○ | ○ |
| 96 | ○ | ○ |
| 112 | ○ | ○ |
| 128 | ○ | ○ |
| 144 | — | ○ |
| 160 | ○ | ○ |
| 192 | ○ | — |
| 224 | ○ | — |
| 256 | ○ | — |
| 320 | ○ | — |
| VBR | ○ | ○ |

※VBR：可変ビットレート

WMA

| | WMA7 | WMA9 standard |
|-----------------|------|---------------|
| サンプリング周波数 (kHz) | | |
| 32.000 | ○ | ○ |
| 44.100 | ○ | ○ |
| 48.000 | — | ○ |
| ビットレート (kbps) | | |
| 48 | ○ | ○ |
| 64 | ○ | ○ |
| 80 | ○ | ○ |
| 96 | ○ | ○ |
| 128 | ○ | ○ |
| 160 | ○ | ○ |
| 192 | ○ | ○ |
| 256 | — | ○ |
| 320 | — | ○ |
| VBR | — | ○ |

※VBR：可変ビットレート

●表示可能なID3/WMAタグ

Song Title、Artist Name、Album Title

※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

●フォルダ番号、トラック番号について

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- WMA9 Professional/WMA9 Losslessには対応していません。

MP3/WMAプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック情報** ボタン

トラックの詳細情報を表示します。

② **トラックリスト** ボタン

トラックリストを表示し、ファイル(曲)の選択が可能です。(102、103ページ)

③ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。(355ページ)

④ **再生モード** ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。(100、101ページ)

⑤ **AUDIO** ボタン

AV MENU画面を表示します。
※ナビゲーション画面/FM/AM/Digital TV/Music Rack/SD/iPod/USB/VTRモードからMP3/WMAモードに切り替えるときに使用します。

⑥ **TILT** ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる/取り出すときに使用します。(96、97ページ)

⑦ **トラック** ボタン(◀▶)

好きなファイル(曲)を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀◀)/早送り(▶▶)します。(98ページ)

⑧ **フォルダ** ◯ ボタン

前のフォルダに戻ります。

⑨ **フォルダ** ⊕ ボタン

次のフォルダに進みます。

⑩ **VOLUME** ボタン

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

⑪ **Quick** ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(354ページ)

⑫ **電源** ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態に)します。また、2秒以上長押しで画面を消します。

表示部(再生画面)について

音場(臨場感)表示
 [P] 31~33ページ
 ※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。
 ※イコライザ設定中は **EQ** マークが表示されます。 [P] 34~37ページ

リピート/ランダム/スキャン選択時に表示
 表示内容につきましては100、101ページを参照してください。

トラック名表示
 (例)トラック情報表示時

再生時間表示

再生状態表示
 ▶ :通常再生
 ▶▶ :早送り
 ◀◀ :早戻し

トラック名表示
アーティスト名
アルバム名
フォルダ名

タイトル名

再生モード表示
 ●MP3モードの場合は **MP3**
 WMAモードの場合は **WMA** となります。

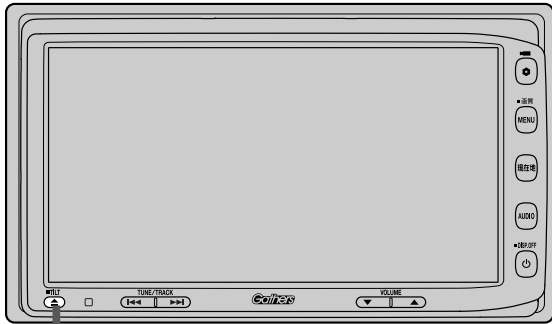
MP3/WMA [各部の名称とはたらき] / [再生画面について]



- トラック名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名/フォルダ番号・フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
 ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- アーティスト名/アルバム名が記録されていないディスクの場合は、“No Title” と表示されます。

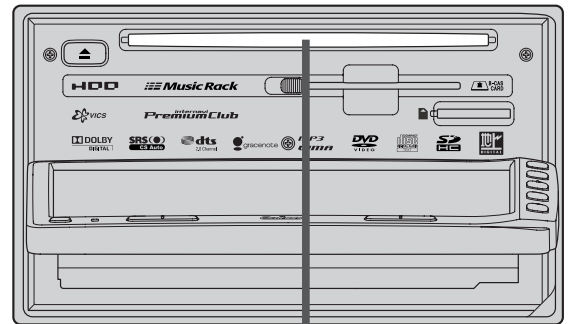
MP3/WMAプレーヤーを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 ディスク挿入口

MP3/WMAを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1

パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。

: ディスプレイが開きます。



アドバイス

ディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。

2

ディスク挿入口にMP3またはWMAのデータが入ったCDを挿入する。

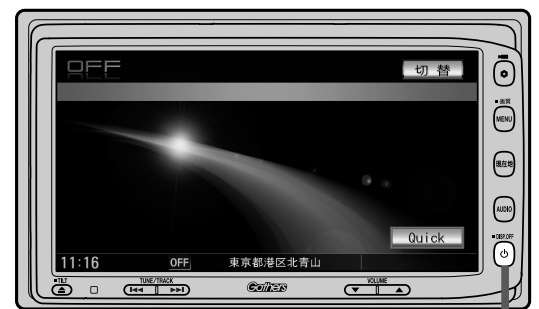
: 自動でディスプレイが閉じ、MP3またはWMAの再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回MP3/WMAモード画面でOFF (オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

: 前回のつづきからMP3/WMAの再生を始めます。



① **電源** ボタン(⏻)

□ ナビゲーション画面または前回MP3/WMAモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ AV MENU画面のときは…

②へ進んでください。

□ ラストモード*画面のときは…

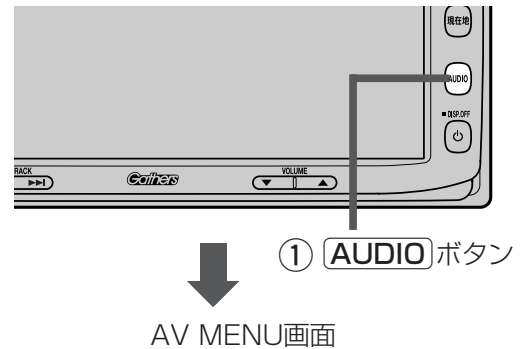
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

② 画面の **CD** ボタンをタッチする。

：MP3またはWMAの再生を始めます。



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

🔊 「音量を調整する」 26ページ

🖥️ 「画質調整のしかた」 27～29ページ

🔊 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



MP3/WMAの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

アドバンス

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

MP3/WMAモードを終了する

1 パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。

：画面に“OFF”と表示されMP3/WMAの再生を止めます。(オーディオモード終了)



MP3/WMAディスクを取り出す

1 80ページ **CDを取り出す** の手順 **1**、**2** にしたがって操作してください。

MP3/WMAプレイヤーを使う(3)

操作パネル上のボタンにて1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

- 1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。
：前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。*

※1回押した場合は再生中のファイル(曲)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

● 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

「**トラックリストより好きなファイル(曲)を選び再生させる**」102、103ページ

● * : トラック再生開始3秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

早戻し/早送りをする

- 1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

：再生中のファイル(曲)の早戻し/早送りをします。

再生状態表示

▶▶ : 通常再生

▶▶▶▶ : 早送り

◀◀◀◀ : 早戻し



1 **トラック** ボタン

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶▶▶側を押し続ける。



アドバイス

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。

好きなフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 画面の **フォルダ⊖** / **フォルダ⊕** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダ⊖ ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ⊕ ボタンをタッチする。



MP3/WMA

「↑ファイルずつ選曲」 / 「早戻し / 早送り」 / 「フォルダ選択」

MP3/WMAプレイヤーを使う(4)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1 画面の再生モード ボタンをタッチする。

: 画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

下記手順 2 で選択した再生モードがマーク表示されます。

WMAモード TOP画面(例)

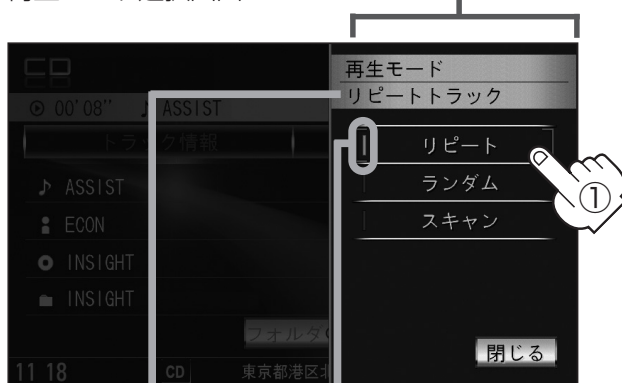


2 再生したいモード(リピート/ランダム/スキャン ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① リピート ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

選択時点灯

: 表示灯点灯し、リピート再生されます。

- **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
リピート再生

(表示灯点灯/
TOP画面のとき REPEAT TRACK マーク表示有)

今聞いているフォルダの
リピート再生

(表示灯点灯/
TOP画面のとき REPEAT FOLDER マーク表示有)

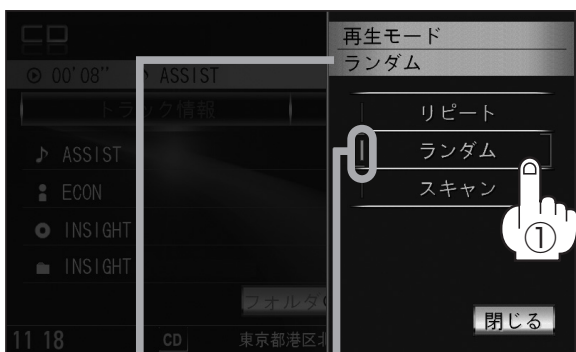
通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯/マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯

現在再生しているフォルダのランダム再生となります。

：表示灯点灯し、選択中フォルダ内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

選択中フォルダ内の曲をランダム再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき **RANDOM** マーク表示有)



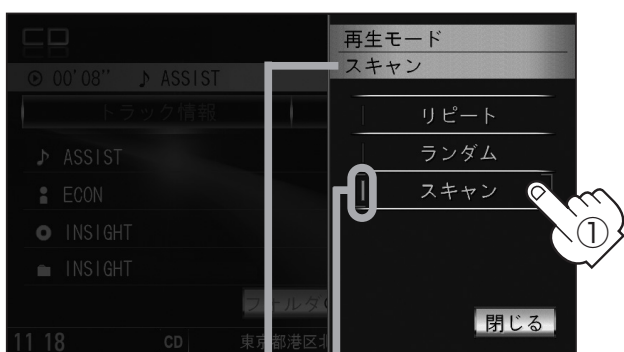
通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯

ディスク内の曲のスキャン再生となります。

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をスキャン再生

(表示灯点灯／TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



3



アドバイス

- ランダム再生は次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。
- スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。
- TOP画面にマーク表示がある限りそれぞれのモード再生を繰り返します。

MP3/WMAプレーヤーを使う(5)

トラックリストより好きなファイル(曲)を選び再生させる

ファイル(曲)を一覧表示させ、再生させることができます。

1 画面の**トラックリスト** ボタンをタッチする。

：トラックリストにファイル(曲)が表示されます。

WMAモード TOP画面
トラック情報表示(例)



 MP3/WMAモードのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報** / **トラックリスト**)によってトラック情報表示 / トラックリスト(ファイル(曲))リスト表示となります。

TOP画面(例)



詳細情報表示

トラックリスト
ボタンタッチ

トラック情報
ボタンタッチ

TOP画面(例)



トラックリスト(ファイル(曲))リスト表示

※すでにトラックリスト(ファイル(曲))リスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいファイル(曲)をタッチする。

：選択したファイル(曲)が再生されます。

TOP画面
トラックリスト(ファイル(曲))表示時(例)





アドバイス

TOP画面を詳細情報表示に戻したい場合は **トラック情報** ボタンをタッチしてください。
(左記アドバイス参照)

